■林達夫　　思想家。反戦と自由主義の在野精神で様々な発言をしながら，余人では不可能な「世界大百科事典」完成。
はやしたつお
白馬会・・・1896＝　　東京で，外交官林曽登吉の長男に生まれる。

子規句歌革新1898＝ 2歳：父に従い，この年から4年間をアメリカのシアトルに過ごし，大きな影響を受けた。

日露戦争終・1905＝ 9歳：

伊藤博文暗殺1909＝13歳：この頃，自ら進んで教会に通う。

大逆事件判決1911＝15歳：京都府立一中に入学。
明治天皇没・1912＝16歳：

第一次大戦始1914＝18歳：上田敏「海潮音」と，
21ヶ条要求・1915＝19歳：阿部次郎「三太郎の日記」に感銘。予告なしに上田敏を訪問し，針路指導を受けた。
民本主義・・1916＝20歳：第一高等学校独法科に入学し，
歌よみの友人にさそわれ，｛あららぎ｝に赴くが，すぐに反発，
本格政党内閣1918＝22歳：＊｛校友会雑誌｝に「歌舞伎劇に関するある考察」を発表，〝過去をふりすてよ，生温き「あれも――これも」を脱せよ，……これをとくにわたくしのうちの歌舞伎劇を愛せむとする心にむかって言いたい〟と論じた。果たしてその後は，西洋文化の研究に専念して，生涯変わらなかった。
一高を中退して，京都帝国大学哲学科で美学および美術史を専攻し，
原敬首相暗殺1921＝25歳：
水平社結成・1922＝26歳：修了。高瀬芳と結婚し，藤沢市鵠沼に住む(この住居を離れるのは，晩年の短いヨーロッパ旅行だけ)。
関東大震災・1923＝27歳：

金融恐慌・・1927＝31歳：_翌年にかけて岩波の第1次｛思想｝の編集に従う。科学技術的な面を扱った「発見と発明との時代」。

世界恐慌・・1929＝33歳：_和辻哲郎，谷川徹三とともに，敗戦まで第2次｛思想｝の編集に従う。
海軍軍縮条約1930＝34歳：この年着手したファーブルの「昆虫記」(山田吉彦＝きだ・みのると共訳)や，
満州事変・・1931＝35歳：
五一五事件・1932＝36歳：
国際連盟脱退1933＝37歳：人文主義を論じた「文芸復興」が文芸復興期研究の戦前の仕事である。

二二六事件・1936＝40歳：「ルソー」，
日中戦争始・1937＝41歳：
健保+総動員 1938＝42歳：＊ベルグソンの「笑い」は，翻訳文学の最高の水準を示す。
第二次大戦始1939＝43歳：「思想の運命」。_マルクス主義に近づき，唯物論研究会の幹事の一人になったが，戦争が哲学者や文学者をも巻き込んでいく時代が来ると，
大政翼賛会・1940＝44歳：「開店休業の必要」と「歴史の暮方」がその時代に対する反応を代表する。
_鵠沼の家の小さな園を耕して，敗戦のときまで再び筆を執ることがなかった。
日米開戦・・1941＝45歳：

敗戦・・・・1945＝49歳：_第2次｛思想｝の編集が終了。中央公論社出版局長に迎えられ，福田恆存，加藤周一などを世に出す。
新憲法公布・1946＝50歳：「反語的精神」「歴史の暮方」。_鎌倉アカデミアの産業(のち経営)科長になる。
_この間，谷川徹三から国立博物館長の打診を受けたが，官職につかない在野精神を貫く。

朝鮮戦争始・1950＝54歳：_鎌倉アカデミアが廃校となり，平凡社に入る。時代の経済的背景を分析した「ルネサンスの母胎」と，
独立回復・・1951＝55歳：_政治的・社会的功罪を説き戦前のものと相互補完的な「ルネサンスの偉大と頽廃」。戦後早くからスターリン主義を批判し「共産主義的人間」を著す。
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝56歳：_ファーブルの「昆虫記」全20巻の翻訳が完了。
自衛隊発足・1954＝58歳：_平凡社の「世界大百科事典」の編集長として，着手。

国連加盟・・1956＝60歳：明治大学教授。

ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝62歳：＊まったく新しく編集された「世界大百科事典」が完成。
美智子妃・・1959＝63歳：
安保闘争・・1960＝64歳：

霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝72歳：
全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝73歳：_文芸復興期研究は「精神史――一つの方法序説」に収斂する。

ﾄﾞﾙｼｮｯｸ・・ 1971＝75歳：唯一の短いヨーロッパ旅行。_「林達夫著作集」全6巻が刊行され，
日中国交回復1972＝76歳：_毎日出版文化賞。また，業績に対して，朝日賞。
石油ショック1973＝77歳：
角栄金脈辞任1974＝78歳：_久野収との対談「思想のドラマトゥルギー」は，自らの思想形成を語った自伝でもある。

田中角栄逮捕1976＝80歳：ベルグソンの「笑い」改訂版，
JALﾊｲｼﾞｬｯｸ・1977＝81歳：
・・・・・・1984＝88歳：_没した。

高橋英夫「わが林達夫」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，